国語科学習指導略案

令 和 ２ 年 ２ 月 ７ 日 金 曜 日 ２ 校 時
高等部Ａグループ　男子２人　女子１人　計３人
指導者　大庭　美和子(CT)　手塚　直人(ST)

１　題材　「動きを言葉で表そう」

２　本時の学習(18／30)

⑴ 全体目標

教師の動作や音声を模倣したり，動作の異なる写真や絵を分類したりすることを通して，写真や絵が示す動作を読み取り，身振りや音声で表現することができる。

⑵ 授業で目指す姿

①　教師の動作や音声を模倣して，写真や絵が表す動作を身振りや音声で表現する姿
＜主体性，思考・判断・表現＞

②　動作を表す写真や絵を見て，同じ動作を表す写真や絵を選んだり，動作の名称を身振りや音声で表現したりする姿**＜基礎・基本，主体性，思考・判断・表現＞**

⑶ 個人目標

生徒	個　人　目　標
Ｓ．Ｒ （２年，男）	教師の動作を模倣したり，動作の異なる二つの写真や絵を分類したりすることを通して，写真や絵が示す，寝る，着るなどの日常動作を読み取り，身振りで表現することができる。
Ｋ．Ｋ （３年，男）	教師の動作を模倣したり，動作の異なる二つの写真や絵を分類したりすることを通して，写真や絵が示す，驚く，怒るなどの感情を表す動作を読み取り，身振りで表現したり，同じ動作の絵を選んだりすることができる。
Ｎ．Ｅ （３年，女）	教師の音声を模倣したり，動作の異なる二つの写真や絵を分類したりすることを通して，写真や絵の中で矢印が示す，寝る，着るなどの動作を読み取り，動作の名称を音声で答えることができる。

(4) 実際【①，②は授業で目指す姿（資質・能力）の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (20)	1　始めの挨拶をする。 2　本時の学習を確認する。 （写真や絵を）よく見て，（物や動きの名前を）当てよう。 3　「返事」をする。 (1)　呼名に応える。 (2)　【K.K】顔写真と名前カードを対応する。 【S.R,N.E】文字チップを並べ替えて名前を構成する。 4　「名前当てクイズ」をする。 ・　具体物と写真を対応する。	・　学習に見通しをもつことができるように，使用する教材や教材の絵を用いて学習の流れを説明する。 ・　顔写真と名前（文字）を対応することができるように，顔写真と名前カードを交互に指さしたり，文字を一字ずつ指で押さえたりしながら名前を読む。 ・　物の名称や用途を知ることができるように，教師が具体物を操作しながら，名称や用途を言うようにする。	・流れカード ・動作の写真など ・顔写真 ・名前カード（平仮名） ・文字チップ ・具体物（鉛筆，ペン等） ・身近な物の写真，絵カード ・箱
展開 (25)	5　「動きクイズ」をする。 (1)　教師を模倣して，動作の名称や身振りを確認する。 (2)　表示された写真や絵が表す動作と同じ動作の絵を選んだり（K.K），動作の名称を身振り（S.R）や音声(N.E)で表現したりする。 (3)　表示された写真や絵が表す動作を再現する。 ※　(2)，(3)を繰り返し行う。 6　グループや個別で課題に取り組む。 (1)　５で用いた動作の異なる写真や絵を分類する。 (2)　５で用いた動作の名称（Ｓ．Ｒ）や名称の一部（交差を含む平仮名：Ｎ．Ｅ），（一，二画で構成される平仮名：Ｋ．Ｋ）を書く。	・　２グループに分かれて学習を行う。CTは，S.R と N.E，STは，K.K と学習を行う。 ①　写真や絵を提示しながら，動作の名称を言ったり，身振りを示したりして，名称や動きを確認する。身振りは，生徒がまねしたくなるように大きな動きで表す。 ②　表示される写真や絵に注目して表現することができるように，表示する際に効果音を用いる。 ・　表現する友達に注目することができるように，前に立つ生徒の立ち位置に配慮する。 ・　(1)については，S.R とN.E は一緒に学習を行う。 ①②　動作の名称を言ったり，身振りで表現したりすることができるように，動作の名称を尋ねる。N.Eについては，矢印カードを用いて矢印の方向を確認した後で尋ねる。 ②　ワークシートの絵を見て，動作の名称を尋ねる。表現が難しい場合は，教師が絵を指さして，動作の名称を身振りや音声で表現する。 ・　文字をなぞりながら，濁点の数や筆順，始点と終点を確認することで，濁点の数（S.R）や筆順（N.E），始点と終点（K.K）を意識して書くことができるようにする。	・パソコン ・動作を表す写真，絵 ・動作を表す写真，絵 ・分類する箱 ・矢印カード ・書き順カード ・ワークシート
終末 （5）	7　学習したことを振り返る。 8　終わりの挨拶をする。	・　教師や友達からの称賛を受けて，学習したことに自信をもつことができるように，学習で取り組んだ課題を友達の前で発表する。その際，教師は，本時で確実にできるようになった課題を選ぶようにする。	・「動きクイズ」やグループ及び個別課題で使用した物

学習指導案について

生活単元学習指導略案

令 和 2 年 2 月 7 日 金 曜 日 2 校 時

小学

指導

1　単元（題材）　「〇〇たんけんをしよう」

2　本時の学習（16／23）

（1）全体目標

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して，公共施設等の外観や施設内の写真や動画を手掛かりに名称やおおよその役割を答えたり，それらを地図や表に表したりすることができる。

全体目標
各教科等の内容から設定

（2）授業で目指す姿

①　調べたことを，写真やイラスト，文字を用いて表現する姿　＜思考・判断・表現，主体性＞ ①

②　まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿　＜言語能力＞ ②

授業で目指す姿
資質・能力を発揮している具体的な姿

（3）個人目標

児童	
Ｉ．Ｒｉ（4年，男）	施設の外観や施設内 りすることができる。
Ｉ．Ｒｕ（4年，女）	施設の外観の写真を を手掛かりに施設の役割（何をする場所か）を主語，述語の２語文で説明することができる。
Ｔ．Ｈ（4年，男）	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え，施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして，役割を表すイラストと対応付けて，「泳ぐ。」，「運動。」などの言葉で伝えることができる。
Ｏ．Ｍ（3年，男）	名称を聞いて施設の外観の写真を選び，施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして，役割を表すイラストを選択したり，動作を交えて伝えたりすることができる。
Ｈ．Ｋ（3年，男）	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え，施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして，役割を表すイラストを選択したり，教師の簡単な質問に「泳ぐ。」，「運動。」などの言葉で答えたりすることができる。

（4）実際【①，②は授業で目指す姿（資質・能力）の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入（5）	※　ロゴ・役割クイズをする。 1　始まりの挨拶をする。 2　学習の流れを確認する。 3　めあての確認する。 ハートピアは，どんなところ？	・　商業施設や公共施設のロゴや役割を表したイラストをフラッシュカードで提示することで，これまでの学習を振り返りながら授業への意欲を高めることができるようにする。 ・　文字とイラストを併せて表示することで，示された内容が分かるようにし，学習の流れに対する見通しをもてるようにする。	・フラッシュカード ・ホワイトボード
展開（30）	4　ハートピアのしまについて調べたことや分かったことを白地図やメモにまとめる。 (1)　外観の写真や施設の名称を白地図に貼る。 (2)　施設内の写真や動画を視聴し，役割を表す言葉を伝えたり，イラストを選択したりする。 5　ワークシートを整理する。 【グループ１】CT T.H，O.M 【グループ２】ST I.Ri，I.Ru，H.K	のおおよその位置関係を確認することができるようにする。 ①　校外学習時に撮影した施設内の写真や，施設を利用している動画を視聴することで，「何をしているか」を言葉や動作で表したり，対応するイラストを選択したりすることができるようにする。 ・　選択したイラストやキーワードを「調べたことメモ」に貼り付けることで，ワークシートをまとめる際の手掛かりとなるようにする。 ①　施設の名称，外観や施設内の写真，役割を表すイラスト，役割を表す言葉を，それぞれの児童の実態や目標に合わせてワークシートにまとめられるようにする。 ・　ワークシートでの文字の扱いについて，I.Ri は施設の名称や役割を言葉で伝えた後に文字として表記する。I.Ru，H.K は言葉で伝えた後に教師の記した見本を手掛かりにして視写やなぞり書きで表記する。T.H は書くことよりも文字を用いて単語を構成することに重点を置き，文字カードを貼り付けることで表記する。O.M は，文字の表す内容と対応付けたイラストを用いて，教師の言葉の模倣や動作化で表現できるようにする。	・白地図 ・調べたことメモ ・ワークシート
終末（10）	6　まとめたことを発表する。 7　終わりの挨拶をする。	②　各自で作成したワークシートを手掛かりに，教師の簡単な質問に答えることで，まとめたことを友達や教師に伝えることができるようにする。	・ワークシート

資質・能力の評価場面
授業で目指す姿の数字と対応させて，留意点を記入